

これからの科学技術政策について

文部科学省 科学技術・学術政策局
計画官付企画官
内丸幸喜

平成16年5月21日

1



○ 今は、どのような時期か？

○ 第2期科学技術基本計画 (平成13年度～平成17年度)

・ 目指すべき国の姿 (知の創造、経済活性化、安全・安心)

・ 重点4分野

(ライフサイエンス、IT、環境、ナノ・材料)

・ 科学技術システム改革 (競争的資金、研究評価)

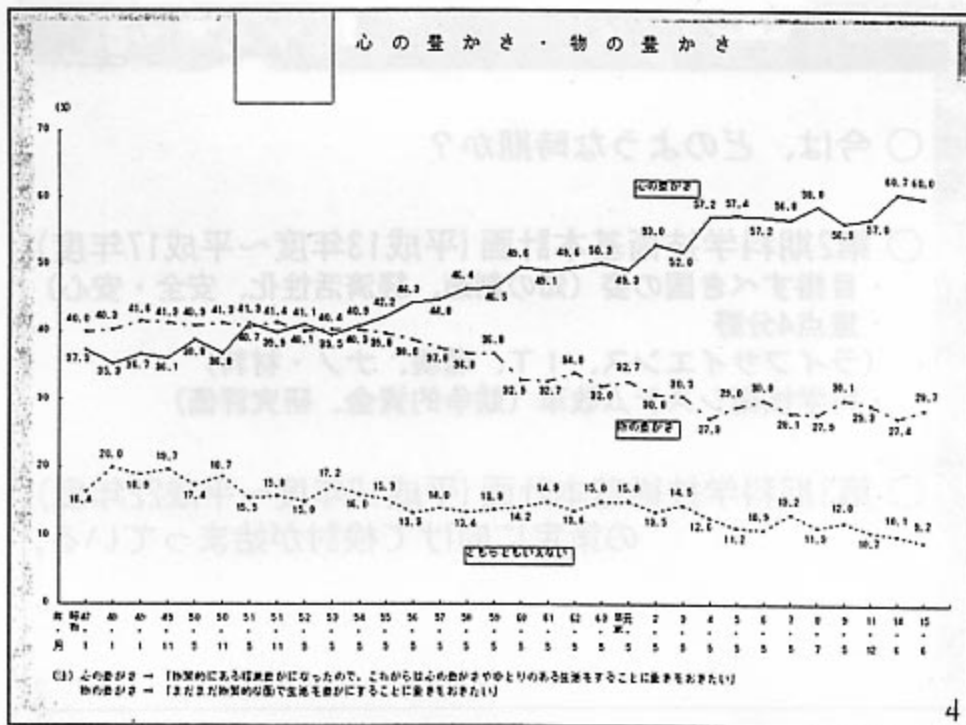
○ 第3期科学技術基本計画 (平成18年度～平成22年度)

の策定に向けて検討が始まっている。

2

物質的な豊かさという点で大きく発展した20世紀
 これからの21世紀には、
 何を目標として科学技術を推進すべきか。

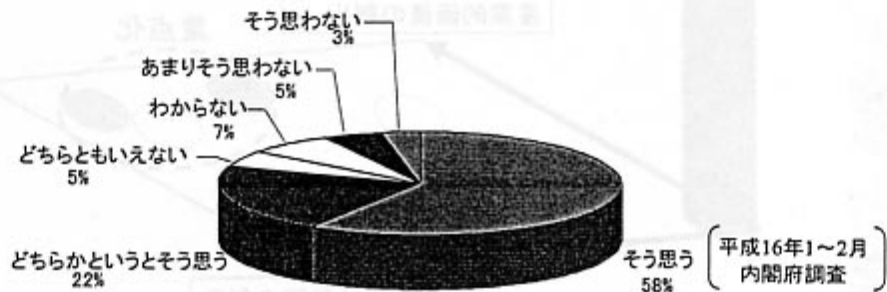
3



科学技術と社会に関する世論調査

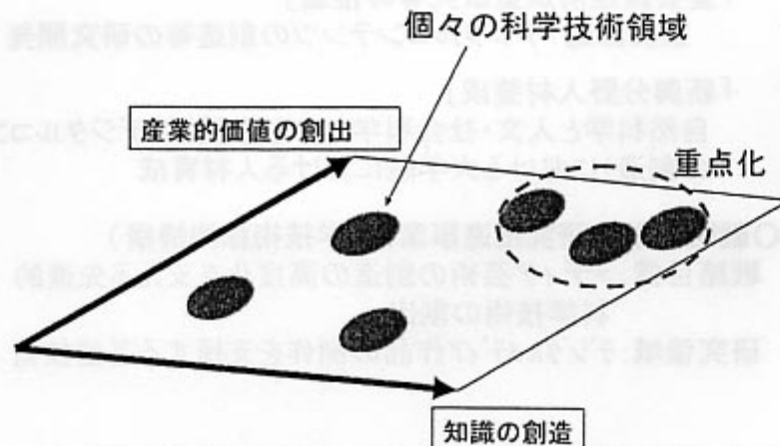
今後の科学技術の発展は、物質的な豊かさだけでなく、心の豊かさも実現するものであるべきである

↓
 そう思う 80.5%



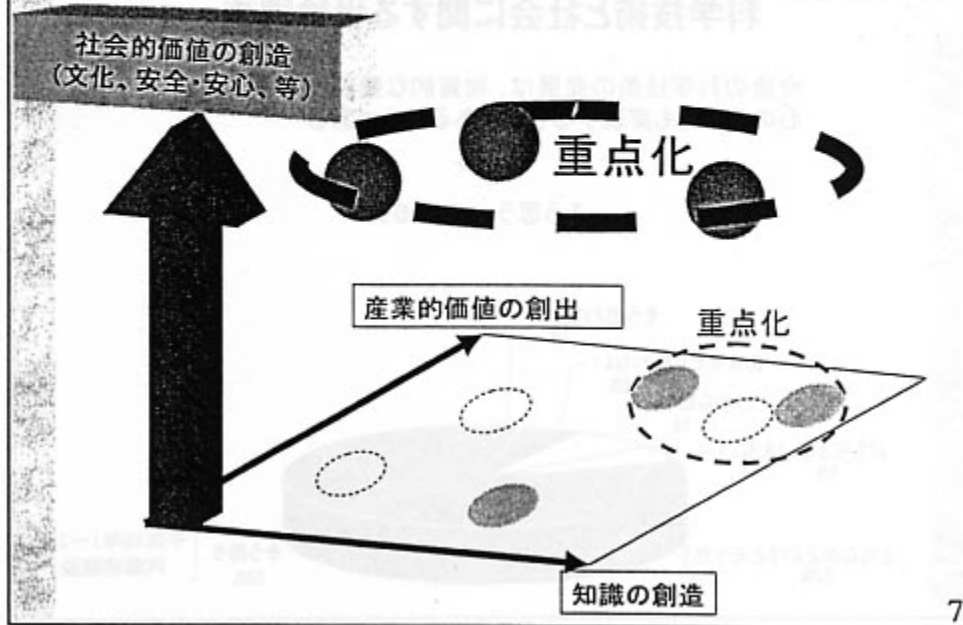
5

従来の科学技術政策重点化の考え方



6

社会的価値を踏まえた科学技術政策重点化の考え方



新たな取り組み例(1)

- 科学技術振興調整費(文科省、総合科学技術会議)
 - 「重要課題解決型研究等の推進」
重要課題: デジタルコンテンツの創造等の研究開発
 - 「新興分野人材養成」
自然科学と人文・社会科学との融合領域(デジタルコンテンツの創造)における大学院における人材育成
- 戦略的創造研究推進事業(科学技術振興機構)
 - 戦略目標: メディア芸術の創造の高度化を支える先進的
科学技術の創出
 - 研究領域: デジタルメディア作品の制作を支援する基盤技術



新たな取り組み例(2)

- 革新技術開発研究事業(科学技術振興機構)
文化芸術の保存・活用・創造に関する課題を民間企業から公募し、より革新的かつ実用的な技術への育成を図る。

- 知的財産の電子的な保存・活用を支援する
ソフトウェア技術基盤の構築(文部科学省)
デジタルアーカイブ化を支援するソフトウェア技術基盤の構築のための研究開発委託事業。
研究開発領域の1つとして「文化財のデジタルアーカイブ化」を設定。

9



新たな取り組み例(3)

- 日中韓科学技術協力

- 科学技術と文化芸術の融合領域における知的生産物の
保護および流通に関する調査研究
(文部科学省 委託先(財)未来工学研究所)

- 先端科学技術をメディア芸術へと文化的価値を
高めるための施策のあり方に関する調査研究
(文部科学省 委託先(財)CGアーツ協会)

10